

700万人時代 認知症とともに生きる

若年性の男性、デイサービスで働く



名前
は
忘
れ
た

そ
れ
で
も

あ
な
た
を
感
じ
る



レンズ越しつながる心と心

下坂さんに、普段接しているデイサービスの利用者の皆さんを写真に撮ってもらった。下坂さんは認知症のため名前を覚えるのが難しく、分からない人が多い。けれども、施設で会うほどに親しくなる。「ちょっとええとこ撮らせて」と下坂さんが声を掛けると、ポーズをとったり、笑ったり、真っすぐレンズを見つめたり。距離を取っても心は身近。そんな関係を写真が捉えた—2020年11月24、30日(下坂さん撮影)

